

SPring-8利用者懇談会の設立によせて

SPring-8利用者懇談会会長

菊田 惺志

このたび多数の関係者のご尽力のもとに、SPring-8利用者懇談会が設立されましたことはまことに同慶にたえません。その初代の会長を務めさせていただくことになり、責任の重大さを感じます。利用者懇談会の発展のために微力を尽くす覚悟ですので、会員各位のご協力、ご鞭撻を心からお願いいたします。

利用者懇談会の設立に向けて本年初めにつくられた設立趣意書には、全国の大学・国公立研究所・産業界の研究者・技術者144名が設立発起人として賛同されました。それを受けて、さる5月27日に設立総会が兵庫県立先端科学技術支援センターにおいて120名以上の参加のもとに開催され、利用者懇談会の設立が承認されました。前もって設立準備会において検討された会則・細則が承認されるとともに、役員陣容も認められました。運営委員は正規の選挙手続きに準じて選ばれました。幹事は設立当初の山積する問題を処理するために人数を多くしてお願いしております。総会のものち、科学技術庁・兵庫県をはじめ関係方面からご挨拶を賜り、利用者懇談会に対する期待や励ましの言葉をいただきました。

利用者懇談会が正式に発足しましたので、今後できるだけ早く懇談会の活動を軌道に乗せるように努めたいと存じます。原研・理研共同チームのSPring-8の建設作業に利用者側から積極的に協力して、高度の放射光利用研究をめざすとともに、SPring-8利用体制整備に関して利用者側からの要望が反映されるように努力してまいります。このようにハードとソフトの両面から大きく寄与できればと思います。

利用研究に関する具体的な活動はまず利用課題別のサブグループの結成ですが、ご承知のようにすでにその方向で作業が進んでいます。この利用者懇談会の前身である次世代大型X線光源研究会においてかなりの数のサブグループが研究計画の立案作業を行なってきましたので、その実績は引き継がれますが、利用者懇談会が発足したこの機会に新たなサブグループの結成も歓迎されます。新しい分野のサブグループの提案や既存のものに近いサブグループの提案でも結構ですので、積極的な対応を期待します。その次の段階は、ごく最近設置されたビームライン検討委員会から共同利用ビームラインの建設計画提案の公募が行なわれることになりましたので、それに応募することです。提案が認められれば、そのサブグループの中の有志が実務作業へ協力することになります。放射光の供用開始は当初の計画では平成10年度からですが、計画を早める努力がされています。これからの作業の段取りを考えると、あまり時間的ゆとりはありませんので、かなり詰めた作業が必要になりそうです。

会員にはすでに700名を越える方々が登録されており、所属の構成比は大学関係59%、産業界22%、国公立研究所関係19%です。このように多数の方々が短期間のうちに登録されたのは、SPring-8への関心の高さ、期待の大きさを示しているものと思われます。利用計画立案および実験装置設計の段階から利用者の意向がそれらに十分に反映されるようにして、完成時には独創的なアイデアにもとづく世界第1級の研究成果をつぎつぎに実らせることをめざしましょう。